

令和3年度 六大学との連携事業一覧(会議)

本表の並び順について

足立区にて開設・開学した時期が早い大学から掲載

「主な対象者」(年齢を基準に区分) 幼児 小中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民 など

| No | 事業区分 | 大学 | 主な対象者 | 事業名 | 事業概要 | 実施方法 | 実施日 | 参加者数 |
|----|------|---------------------------|---------------|-------------------------|--|---|----------------------|---------------------|
| 1 | 会議 | 東京藝術大学 | — | 水害時避難所運営手順書についての打合せ | 令和3年1月22日に「大規模水害時における緊急避難建物としての使用に関する協定」を締結したため、その後作成した水害時避難所運営手順書案についての内容協議。 | 対面 | 7/5 | 3 |
| 2 | | 東京未来大学 | 高齢者 | 孤立ゼロプロジェクト推進事業 | 常東地域(日ノ出町、千住旭町、千住閑屋町、千住東、柳原)の住民が、認知症になってもお互いに助け合いながら安心して暮らせる町づくりを検討。東京未来大学の学生との交流も含め、常東地域あんしん拡大推進会議の協力メンバーとして情報交換。 | オンライン | 1/26 | 10 |
| 3 | | | — | 備蓄倉庫見学 | 当初、30名程度が集まって訓練の実施を予定していたが、緊急事態宣言の延長に伴い見送ることとした。その代替として、地域から要望が挙がっていた備蓄倉庫の見学のみ実施。 | 対面 | 9/20 | 18 |
| 4 | | 東京電機大学 | — | 避難所運営会議役員会 | 作成した水害時避難所運営手順書の周知および12年ぶりに実施する避難所運営訓練に向けた準備。 | 対面 | 7/6 | 21 |
| 5 | | | — | 駅前滞留者対策推進協議会事業者ヒアリング | 北千住駅前滞留者対策協議会に参加いただいている事業者として、大規模地震時の事業者としての対応をヒアリング。 | オンライン | 1/24 | 6 |
| 6 | | | — | 駅前滞留者対策推進協議会の合同オンライン説明会 | 北千住駅前・綾瀬駅等滞留者対策推進協議会に対し、現在作成している「北千住ルール実践のための行動指針(案)」等、区の方針を説明するための説明を実施。 | オンライン | 2/28 | 29 |
| 7 | | 文教大学 | — | ものづくり支援事業 | あだち異業種連絡協議会から東京電機大学と連携して異業種フォーラムを開催したいとの依頼があり、連携事業について確認するため、打合せを実施。 | オンライン | 3/14 | 11 |
| 8 | | | — | パークミーティング | 桜花亭主催の地域の会議。 | 対面 | 7/6、10/28、2/15 | 61 |
| 9 | | | — | 花畑地域まちづくり協議会 | 花畑地域のまちづくりに関する地域の会議。 | 対面 | 9/7、2/10、11/17 | 96 |
| 10 | | 六大学 | — | 経済活性化会議 | 足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査・審議を行う。 | 書面、対面 | 5月、1/26 | 21 |
| 11 | | | — | 学長会議・実務者会議 | 学長会議では区長と学長が集まり意見交換を行う。各大学の実務者と区で情報共有を行う。 | オンライン | 8/25、6/25、11/16、3/10 | 137 |
| 12 | | 放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学 | — | 水害時避難所派遣職員現地確認及び職員顔合わせ | 水害時避難所として円滑な開設・運営ができるよう、水害時避難所派遣職員による利用可能エリアや備蓄等の確認を行うと共に、大学担当者との顔合わせや発災時等の連絡方法を確認。 | 対面 | 8/10、8/30、8/31 | 30 |
| 13 | | | 帝京科学大学、東京未来大学 | — | 教育利用研究会 | 教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。 | 対面 | 7/3、12/7、10/15、8/27 |